

〈報道発表資料〉

企画財政部 政策担当
担当 主幹 保坂 航平
直通 048-996-2111(内線 882)



E-mail:seisaku@city.yashio.lg.jp

国士舘大学の学生が本市で研究発表を行いました ～ 「社会連携を通じた地域課題の解決策に関する提案」の発表会 ～

本市と包括的連携協定を締結している国士舘大学の政経学部の各ゼミが、地域が抱える様々な課題から研究テーマを定め、現地調査等を行うなどして検討した解決策に関して、提案発表会を行いました。

1 日時

令和元年11月27日(水) 午後3時から5時30分まで
(開場 午後2時30分)

2 場所

八潮メセナ・アネックス 多目的ホールA・B

3 参加者

市長、国士舘大学政経学部 岩元学部長、同大学政経学会 長谷川学会長、学生、指導教員、一般市民等、合計約80名が参加しました。

4 実施結果

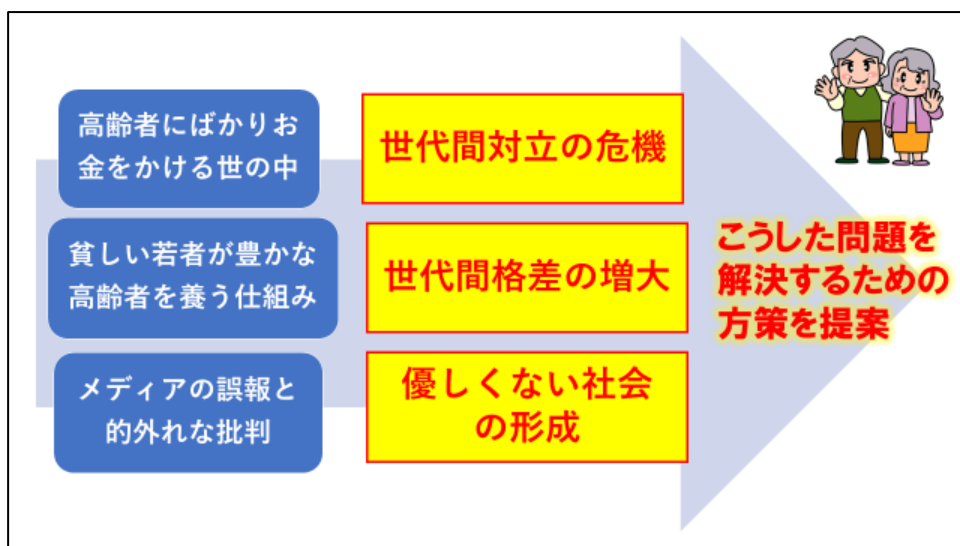
- 「地域が抱える課題」について、各ゼミは、普段ゼミ活動で取り組んでいるトピックや学生の興味・関心に基づき、「高齢者支援」、「子どもの居場所づくり」、「農業振興と住民連携」等に着目し、様々な研究テーマを設定し、発表を行いました(テーマ名等は裏面を参照)。
- 本市は、各ゼミへの研究協力として、本市の状況や施策・事業等の情報を提供しました。
- 各ゼミの発表の後、「地域課題の解決に向けて、自分たちができること」をテーマに、市長、教員、学生による懇談会を開催し、意見交換を行いました。
- 市長は、「議論することは問題解決に向けて非常に有効」と述べ、学生に対して「社会の様々なことに対して自分の意見を持つようにしていただきたい」と激励しました。
- 国士舘大学とは、双方の発展のために、今後も連携して事業を実施してまいります。

【参考1】各ゼミの研究テーマ

No	研究テーマ	ゼミ名
1	ナッジを活用した高齢者支援と世代間関係の強化	平石ゼミ
2	図書館×まちづくり ～ サードプレイス概念を手掛かりとした社会連携の可能性 ～	上村ゼミ
3	食で“つながる”人とまちの魅力 — フェス・祭りの課題を解決する「秘密」のレシピ —	石見ゼミ
4	子ども食堂と地方創生 — 子ども食堂創設に関する研究 —	的射場ゼミ
5	地域の特色を活かした人と人とのつながりと産業づくり — 社会連携と都市農業の可能性 —	古坂ゼミ
6	八潮市スマートシティ化への試案 ～ スマートロック普及の観点から ～	加藤ゼミ

【参考2】発表内容例

(No.1 ナッジを活用した高齢者支援と世代間関係の強化)



効果・便益

1. 高齢者は社会サービスの受益者という側面だけでなく、街づくりやみどりのおじさん（おばさん）など、サービスの生産者としての側面があることを社会全体に周知させる



社会対立コストから社会協調へと変換

2. 高齢者自身が培ってきたスキルや人間関係（人脈）を地域ビジネスや社会ビジネスに活用させる



高齢者の生産活用性の開発

3. 高齢者の元気や寿命を延ばすための社会的価値の再評価



高齢者の生産的参加



【参考3】当日の様子

発表時（学生）

懇談会時（市長メイン）